

事務事業名		河川維持補修事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	終了
H27担当課等名	土木課		H27係等名	維持係		H26係等名		維持係				
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり								
		施策	45	居住基盤の向上								
目的	対象(誰・何を)	準用河川及び普通河川						指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういふ状態にするか)	河川施設の維持補修を行い、漏水や護岸の決壊等を未然に防止し、市民の安全を確保する。						河川維持補修必要箇所:箇所		24		
	向上させたい上位施策の成果指標	・居住基盤の満足度:%										
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	河川維持補修実施か所:箇所			10	24	10	30				
	定性目標											
事業概要	・河川施設のパトロールや関係地区からの補修要望、緊急通報等により、市内準用河川、普通河川の河川施設の維持補修工事を実施する。											
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標			
	河川維持補修工事				工事箇所数				24カ所			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		7,829	15,368	15,367	8,332							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		7,829	15,368	15,367	8,332							
人件費計(千円)②		465		465								
正規職員所要時間		130		130								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		8,294	15,368	15,832	8,332							
事業内容・目標達成状況の振り返り	河川施設の維持管理を行い漏水や護岸の決壊を未然に防ぐことが出来た。 また、昨年度の豪雨により流出して堆積した土砂の浚渫を行い河道確保をした。											
改革改善の考え方	①問題点	老朽化した護岸の大規模な補修が予想される。 山林の荒廃などにより、河川内に土砂が堆積し、排土の要望が増加している。										
	②改革提案	予算拡大										